

外国人宣教師日本語著作目録【サ行】_2018年12月12日公開

宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
San Miguel, Jovino		ホビノ・サンミゲル			1941-		カトリック・ドミニコ会		スペイン	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00295	オルテガ・イ・ガセットにおける人生論	単著	ホビノ・サンミゲル 著	創風社出版	松山	2013.8	194、19p	はじめに/第一章 過去から投影された人間/第二章 存在の概念と人間の生のプロジェクト/第三章 自我と生のプロジェクトの構成/生のプロジェクトの選択の特徴/第五章 人間の生の充実性/終わりに/参考文献/日本語に翻訳されたオルテガの著作	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB13456346	-
宣教師名		宣教師名 (J)			生没年		所属		出身国	
Seigel, Michael		マイケル・シーゲル			1947-		カトリック・神言会		オーストラリア	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00296	パーチェム・イン・テリス：回勅：地上の平和	独訳	教皇ヨハネ二十三世著、マイケル・シーゲル訳、日本カトリック司教協議会社会司教委員会監修	カトリック中央協議会	東京	2013.7	136p	緒論/一 人間の間の秩序/二 政治共同体における人間と政府当局の関係/三 政治共同体間の関係/個人および政治共同体と世界共同体との関係/五 司牧上の指針/注/訳者あとがき/解説	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB13664150	-
MB00297	真理に根ざした愛：回勅	独訳	教皇ベネディクト十六世著、マイケル・シーゲル訳	カトリック中央協議会	東京	2011.6	159p	序論/第一章『ポプロールム・プログレシオ』のメッセージ/第二書 現代における人間の発展/第三章 兄弟愛、経済発展、市民社会/第四章 人間の発展、権利と義務、環境/第五章 人類家族の協力/第六章 諸民族と科学技術の発展/結論/注/訳者あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB06460966	-
MB00298	教会の社会教説綱要	独訳	教皇庁正義と平和評議会著、マイケル・シーゲル訳	カトリック中央協議会	東京	2009.7	500p	教皇大使の手紙/翻訳者前書き/用語について/アンジェロ・ソダーノ枢機卿手書/前書き/略号/序文 連帯的な全人的ヒューマニズム/第一部 第一章 人間に対する神の愛の計画/第二章 社会教説と社会の使命/第三章 人間と人権/第四章 教会の社会教説の諸原理/第二部 第五章 家庭—社会の生きた細胞/第六章 人間の労働/第七章 経済生活/第八章 政治共同体/第九章 国際共同体/第十章 環境保護/第十一章 平和の促進/第三部 第十二章 社会教説と教会の活動/結論 愛の文明に向かって/引照文献索引/語彙索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA91280752	-
MB00299	福音と現代：宣教学の視点から 第1巻	単著	M.シーゲル 著	サンパウロ	東京	2005.3	341p	目次：序論/第一章 現世における教会の使命 I 教会の宣教使命/II 宣教学/第二章 洗礼と救い I 洗礼と救い/II 教会史における理解の変遷/III 議論のまとめ/第三章 他の宗教に関する神学 I 救いの計画と救いの普遍性/II バチカン公会議前後の神学/III 「無名のキリスト者論」/IV 他の宗教の肯定へ/第四章 諸宗教とのかかわり I 神との出会いと宗教/II 宗教の問題点/III 他の宗教とのかかわり/IV 他の宗教に関する神学/第五章 キリスト教と文化 I キリスト教宣教とヨーロッパ文化の普及/II キリスト教とヨーロッパ以外の文化/III グローバルな教会へ/IV 土着化の課題/V 土着化の問題点/VI 土着化の実り/第六章 教会史と文化 I ユダヤのディアスポラ/II ローマ帝国の宗教心とキリスト教/III キリスト教のヨーロッパへの普及/IV 近代のキリスト教/結論	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA72109905	-
MB00300	聖書がみる現代	単著	マイケル・シーゲル 著	しののめ出版	東京	1994/初版、2005.8/第2刷	189p	まえがき/序章 価値/第1部 創造 第1章「神は見て、良しとされた」/第2章「神は自分のかたちに人を創造された」/第2部 原罪 第3章 原罪とは/第4章 原罪は人間に何をもちたか/第3部 第5章 罪を「治める」/第6章 キリストによる救い/第7章 愛/第4部 第8章 現代世界の矛盾/第9章 植民地時代の後遺症/第10章 現代の社会体制/第11章 なすべきこと/結論/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN10619201	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Siemes, Johannes		J. ジーメス		1907-1983			カトリック・イエズス会		ドイツ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00301	日本国家の近代化とロエスラー	単著	J.ジーメス 著、本間英世 訳	未来社	東京	1970	233p	はしがき/第一篇 ロエスラーのドイツ語著書における社会理論 第一章 ロエスラーのドイツにおける学問的業績/第二章 ロエスラーの社会法/第三章 近代国家の根本問題/第四章 ビスマルクのドイツ帝国憲法に対する批判/第二篇 日本におけるロエスラー 第一章 日本の近代化に対するロエスラーの貢献/第二章 明治憲法に対するロエスラーの寄与/第三章 ロエスラーと日本におけるドイツの影響/第四章 ロエスラーの私生活/むすび/訳者あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01121232	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Simoncelli, Carmelo		カルメロ・シモンチェリ		1927-			カトリック・サレジオ会		イタリア	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00302	祈りの友：カトリック祈禱書	編集	カルメロ神父編集	宇治カルメル会修道院	東京	1986	708p	パウロ六世教皇による神の民の信仰宣言(クレド)/朝晩の祈り/朝の祈り/晩の祈り/日々の祈り/念誦のしおり/十字架の道行の祈り/聖母マリアとともに/秘跡/洗礼/堅信/聖体-ミサ/ゆるしの秘跡(告解)/子供のゆるしの秘跡/婚姻の秘跡-家族/病者のための秘跡と祈り/教会の典礼とともに歩む/種々の祈り/種々の祝別/神に召された兄弟のための祈り/付録1 詩編/付録2 免償/付録3/付録4 信者の心得・諸注意/付録5 第二・第三奉献文/付録6 第六版・追加/あとがき	ニ	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Chegaray, Olivier		オリビエ・シェガレ		1939-			カトリック・パリ外国宣教会		フランス	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00303	友として、司祭として：日本宣教50年の模索から	単著	オリビエ・シェガレ 著	フリープレス 星雲社	東京	2015.5	295p	まえがき/推薦のことば 森一弘/I 日本の風土が育む愛と信仰/日本人の宗教心と向き合って/日本人と教会の相性/大震災からの学び/II 時代の変動とともに生きる/新たな平和への目覚め/暴力とゆるしの狭間で/社会に福音の光を掲げる/キーワードとしての「宗教」/III 教会の未来像/日本宣教の実りと課題/終わりのない「教会の刷新」/和解への長い道のり/みことばに照らされた世界を創る/IV 次代を担うあなたへの伝言/生きがい探し/梁山泊で/ライフスタイルの中の「みことば」/世界に羽ばたく若い力への期待	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB18908864	-

宣教師名 Steichen, Michae l		宣教師名 (J) シュタイシエン		生没年 1931-2017		所属 カトリック・バリ外国宣教会		出身国 ルクセンブルク		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00304	キリシタン大名	単著	ミカエル・シュタイシエン 著、吉田小五郎 訳	乾元社	東京	1952	392p	邦譯の辭／著者小傳／シュタイシエン師著作目録／凡例／序／主な引用書／本書に引用された若干の日本語の説明 第一章 フランシスコ・ザビエルの日本渡来。彼の鹿児島逗留。彼、新納伊勢守の館を訪問す。平戸ならびに山口滞在。京都への旅。日本の政治的・宗教的状況。フランシスコ・ザビエルの山口降還。彼が、府内の大名大友氏訪問。彼の日本出發。彼の逝去。 第二章 キリシタン宗の進展。松浦の近親二人の改宗。最初のキリシタン大名大村純忠。京都に於ける布教状態。公卿清原・三好山城守・白井・高山・澤・池田丹後守、ならびに内藤の改宗。これが改宗の理由。 第三章 幾多の大名の改宗を妨げた障害。山口の反亂と最後の大内氏二人の死。大村の時機に添はぬ熱情。その擾下の暴動。大村の勝利。該大名に關する考察。五島の大名の改宗。彼殺後の迫害。志岐の領主の二心。天草の大名の改宗。 第四章 將軍義輝の叛逆とその後の内亂。義輝の弟義昭、和田惟政の許に據る。織田信長、義昭を援けて將軍職に就かしむ。京都を迫はれたるゼズス會士再び京都に歸る。永祿寺の傳説。和田の改易と復讐。内亂中の和田の行狀。彼の死。 第五章 比叡山大伽藍の取詰と被破。義昭、信長に反す。京都附近の掠奪。義昭の没落。ジョアン内藤及び三好氏の瀆難。畠山の受洗。三箇の白井に迫りし危険。高山右近、和田の嗣子の後を嗣ぐ。彼が信長に對する謀反。京都の天主堂の奪還。高槻に於ける復活祭の祝典。 第六章 信長、安土に築城す。安土と京都にて行ひし齟齬。ゼズス會士、安土に學林ならびに天主堂を建立す。佐々木及びタケヤの改宗。信長の疑惑。部將羽柴秀吉。明智光秀の謀反。信長の非業の死。明智の横暴と没落。信長の嫡孫三法師。秀吉の野心。 第七章 秀吉大坂に館を構ふ。小西行長と其の一族の改宗。御殿女中ヨハンナ小野木。黒田孝高、牧村正春、今大路進三の改宗。秀吉先づ栗田、瀬川と戦を交へ、次いで信雄及び家康と戦ふ。秀吉、根來の衆徒及び高知の大名長曾我部東を敗る。蜂須賀、後島の大名となる。高山及び池田の轉封。秀吉開白を拜す。 第八章 有馬義貞と、その子晴信の改宗。大友義綱の遊巡。其の子及び其の甥受洗す。伊東の敗北と、大友・島津間の争。大友、遂に洗禮を浮く。大友、領國をその子義統に譲る。父子間の不和。義統の敗北。伊東の一族多勢改宗す。一條兼定と、その子内政のこと。 第九章 遣欧使節。途々受けたる歓迎。龍造寺・有馬間の交戦。大村の瀆難。島津、豊後に侵入す。宗廟、秀吉に救を求む。九州征伐。毛利秀包ならびに阿曾昭の改宗。大友義統の敗戦と改宗。九州の分割。伊東祐兵の改宗。 第十章 大村純忠と大友宗麟の死。ゼズス會士日本を追放さる。この禁令の原因。高山右近の改易。平戸に於けるゼズス會士の會合。長崎天領となる。有馬に於けるゼズス會士の評議とその決議。木下勝俊と織田信雄の改宗。松浦と大友、キリシタンを迫害す。細川ガラシアの改宗。 第十一章 秀吉、館を京都に移す。九州に於ける淺野の使命。加藤清正・小西行長兩人間の肥後分割。ジョアン天草の反逆と懲罰。秀吉の小田原城主北條征伐。神父バリニヤノ、四人の大使を具して日本に歸る。秀吉一行を引見す。一行に對する諸侯の執心。宗義智の改宗。大使ら、松浦・有馬・大村ならびに大友を歴訪す。希望と憂慮交々いたる。 第十二章 朝鮮征伐。秀吉、開白職を辭して太閤の稱號をとる。日本軍の編制。小西と加藤、朝鮮に入る。小西の成功。加藤の進發。太閤、名護屋に行く。彼自ら遼鮮し得ざりし理由。彼が復讐せる結果。スペインの使節。商弁の受洗。朝鮮に於ける敗戦。 第十三章 日支間の講和。小西の父隆佐の死。伊東兄弟の死。大友義統の没落。蒲生氏郷の變死。秀次の改易と死。京都の所司代、前田の一族。織田秀信・京極高知・津輕爲信の子二人。木村重高・細川興元とその甥忠俊、宇喜多ノブズミ・明石掃部、淺野幸長・蜂須賀家政・寺澤廣高らの改宗。日本へのフィリッピン新使節。 第十四章 朝鮮に於ける形勢。セスベデス神父、小西を慰問す。筑紫の受洗。宣教師に依って禁ぜられたる奴隷買賣。北京の朝廷に於けるジョアン内藤。支那使節、小西の降營いたる。支那の皇帝に贈るべき稱號につき、案出されたら筋策。講話に對し加藤の提出した故障。太閤、使節を大阪に引見す。彼、支那の皇帝に任せられざるを知りて憤激す。戰爭の再發。日本人の敗戦。 第十五章 「サン・フィリップ號」事件。新なる迫害の動機。長崎の二十六殉教者。太閤の薨去。彼が政治に關する考察。日本軍朝鮮より召還せらる。家康が権力増大と陰謀。石田の反對。細川ガラシアの死。織田秀信の敗北と監禁。 第十六章 關ヶ原の役。毛利及び加藤の行動。キリシタン大名は秀報の味方なりしか。家康、日本の主權を握る。小西の死と、その一族の没落。宗義智の背教。織田秀信・大友・毛利秀包・明石掃部・宇喜田・前田左近・木下・筑紫・牧村及びジョアン天草らの末路。 第十七章 家康、己に左袒せるキリシタン大名に恩賞を興ふ。キリシタン宗門に對する彼の好意。松浦・加藤・毛利・寺澤らキリシタン宗を迫害す。京極高次・稲葉十兵衛・石川・小笠原・原主水・宇喜田夫人、ならびにその女二人の改宗。ジュリア内藤・ジュリア・オタ、その他熱烈なる婦人。家康將軍職をその子秀忠に譲り駿府に隱居す。江戸城の建築。 第十八章 信長及び太閤に比較された家康。彼の御門に對する政策及び秀報、その他の諸大名、ならびに異國人に對する政策。日本とスペイン、オランダ及びイギリスより來れる商人との通商關係。日本人通商の擴張。「マードレ・デ・テオス號」事件。ポルトガル人の末路。オランダ人及びスペイン人の陰謀。琉球諸島の併合。臺灣に對する計畫。 第十九章 不安な前徵。黒田孝高とその弟右衛門の死。黒田長政及び毛利高政の棄教。前田宗利と筒井定次の改易。五島・大村ならびに有馬徳純の棄教。細川、キリシタン教徒を迫害す。加賀山の誠實。島津、敵意を呑むに至る。伊東マシヨの死。 第二十章 家康、伴天連追放、キリシタン宗禁制の布告を發す。この布告の原文。これが發布の原因。アダムス及びオランダ人の讒訴、佛教に對する家康の熱心。家康、一族中のキリシタンを追放す。續いて有馬の陰謀起る。若干の新改宗者の無謀、ソペロ神父の行狀。伊達政宗の性格。彼が遣欧使節。 第二十一章 家康の布告の結果。大久保忠隣、京都・大阪ならびに堺に於ける布告執行を命ぜらる。該大名の没落と悲慘な陰謀の結末。高山右近と内藤如安の配流。兩人、長崎に來り、信者の熱心を痛る。宣教師たちの不和。流入日本を去る。彼らのマラ到着。彼らの死。彼らの子孫に關する消息。 第二十二章 家康・秀報間の戦争。片桐の謀反。京都大佛の建立。家康・片桐間の交渉。戰端開始。大阪の役中キリシタンに執つた役割。キリシタン宗に對する秀報の意圖。此度の内亂に一時的沈靜。秀報の敗北と死。敗者の運命。 第二十三章 家康の死去。秀忠の治政。若干の宣教師たちの悲愴なき熱心。伊達の使節の悲慘な最期。オランダ人、密書を發見したりと申出づ。日本商人の競争。仙臺に於ける迫害。支倉の死。注目すべき改宗。家光、秀忠の後を嗣ぐ。殉教者の數。上杉、家臣を迫害す。キリシタン大名に關する最後の一言。高祿の武士の誠實。原主水とジュリアン中浦の殉教。キリシタン宗の新人に對する報復。 第二十四章 島原の亂の原因。長谷川と松倉重政の暴虐。松倉重次の虐政。地方役人の暴行。天草一揆。叛徒の首領益田四郎。島原の包圍。原の籠城。部將板倉重直。總大将松平信綱の來朝。原の包圍。オランダ人の所行。龍城兵の反逆。その最後の敗北。姉女子の運命。寺澤及び松倉の懲罰。 第二十五章 原の虐殺後のキリシタン宗門の景況。宣教師らが日本滲入の計畫。再教伴天連トマス・キアラの最後。異國人全部を日本より追放す。マカオ市の使節。出島のオランダ人。日本人の國外に出づるを禁す。一八五三年に於けるアメリカ人の渡來。キリシタン子孫の發見。前途。 キリシタン大名の過去と現在 索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN12374626	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2941440

MB00305	切支丹大名記	単著	シュタイシエン 著、吉田小五郎 訳	大岡山書店	東京	1930	448p	邦譯の辭／著者小傳／凡例／序／引用書／用語例／第一章／第二章／第三章／第四章／第五章／第六章／第七章／第八章／第九章／第十章／第十一章／第十二章／第十三章／第十四章／第十五章／第十六章／第十七章／第十八章／第十九章／第二十章／第二十一章／第二十二章／第二十三章／第二十四章／第二十五章／切支丹大名等の過去と現在／索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07849484	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1215700
MB00306	切支丹大名史	単著	スタイシエン 著、ピリヨン 訳	三才社	東京	1929	393p	第一章／第二章／第三章／第四章／第五章／第六章／第七章／第八章／第九章／第十章／第十一章／第十二章／第十三章／第十四章／第十五章／第十六章／第十七章／第十八章／第十九章／第二十章／第二十一章／第二十二章／第二十三章／第二十四章／第二十五章／附録、重なる切支丹大名の系圖	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11582967	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1918198
MB00307	大震災と死の思想	単著	ステシエン 著、藤井伯民 [訳]	教友社	東京	1923	64p	一 震災と死の思想 一 一弾指の死 一 聖アルフォンソの「死の準備」	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/963962
MB00308	聖人伝	単著	斯定筈 著	武市誠太郎	東京	1903.2	652p	聖ゲノワ童貞 一月三日／聖シメオン、「スチリト」行者 一月五日／聖カヌト国王致命者 一月十九日／聖ヨハネ金口博士 一月廿七日／聖ポーラ寡婦 一月廿八日／聖イグナシヨ致命者 二月一日／聖アガタ童貞致命者 二月五日／福なるコンラ 二月十九日／聖マルガリタコルトナ痛悔女 二月二十二日／聖ベトロ、タミヤノ博士 二月廿三日／聖クネグンダ皇后 三月三日／聖トマ博士 三月七日／セバステの四拾人の致命者 三月十日／聖バトリク司教 三月十七日／聖ヨゼフ浄配 三月十九日／聖ベネジクト黒奴 四月三日／聖サバ致命者 四月十二日／福なるリドウ井ナ童貞 四月十四日／聖ズイタ下婢 四月二十七日／尊なるヨハネ、パプチスタタン致命者 四月廿八日／聖モニカ寡婦 五月四日／聖ヨハネ、ダマスコ博士 五月六日／聖スタニスラオ致命者 五月七日／聖ヨハネネボムク致命者 五月十六日／福なるマリアナ童貞 五月廿六日／聖ポニファシヨ致命者 六月五日／聖バルナバ宗徒 六月十一日／聖マリナ童貞 六月十八日／聖ベトロ使徒 六月二十九日／聖ポーロ使徒 六月三十日／聖エリザベトボルトルガル国の皇后 七月八日／聖ヴィンセンシヨ、デ、ポーロ 七月十九日／聖マリア、マグダレナ 七月二十二日／聖長ヤコボ使徒 七月二十五日／聖イグナシヨ耶穌会の創立者 七月卅一日／聖ドミニコ創立者 八月四日／聖ヒロメナ致命者 八月十日／尊者ミカエル、ミ致命者 八月十二日／聖バルトロメオ使徒 八月二十四日／聖ルドウィコ国王 八月廿五日／聖ブルケリヤ皇后 九月十日／尊者アンドレア、金致命者 九月十六日／聖エスタキヨ致命者 九月廿日／聖マテオ使徒 九月二十一日／聖イエロニモ博士 九月三十日／聖レミジヨ司教 十月一日／聖フランシスコ、アシジヨ創立者 十月四日／聖テレジヤ童貞 十月十五日／聖ルカ福音史 十月十八日／聖シモンと聖ユダ使徒 十月二十八日／聖カロロ司教 十一月四日／聖マルチノ司教 十一月十一日／聖セシリヤ致命者 十一月二十二日／聖カタリナ致命者 十一月二十五日／聖アンドレア使徒 十一月三十日／聖フランシスコ、ザエリヨ 十二月三日／聖アンブロジヨ博士 十二月七日／聖トマ使徒 十二月二十一日／聖ヨハネ使徒福音史 十二月廿七日／聖シルエステロ法皇 十二月卅一日	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA87626412	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824765

<p>MB00309</p>	<p>耶蘇基督真蹟考</p>	<p>講述</p>	<p>斯定筌 述、久米邦武 記</p>	<p>岩崎重雄</p>	<p>東京</p>	<p>1897.8</p>	<p>321p</p>	<p>第一章 耶蘇基督の母及び降誕(馬二一〇八路加一〇廿六) / 奉獻の事(路二〇廿一) / 第二章 博士來獻し(馬二〇一) / 基督を埃及に匿し(馬二〇十三) / 拿撒勒に歸り(馬二〇十九) / 耶路撒冷に赴く事(路二〇四十二) / 第三章 洗者約翰の事(馬三〇一、馬路一〇一、路一同三章) / 基督の受洗(馬三〇十三、谷一〇九、路三〇廿一) / 基督の断食誘惑の事(馬四〇一、谷一〇十二、路四〇一) / 第四章 耶蘇徒弟の始まり(約翰一〇卅五) / 加納里婚宴に會し(約二〇一) / 加百農邑に赴く事(約二〇二) / 第五章 基督耶路撒冷聖殿より売買する者を逐出す(約二〇三) / ニコデモの信依(約三〇一) / 撒馬利亜國にて女を論じ(約四〇五) / 拿撒勒にて演説の事(路四〇十六) / 第六章 基督加百農に歸り華人の子を癒し(約四〇四十六) / 四人の使徒を定め(谷一〇十六路五〇一) / 魔憑を逐ひ(谷一〇廿三路四〇卅三) / 伯祿の養母及び癩病を癒しし事(馬八〇十四、谷一〇廿九、路四〇卅八) / 第七章 反対者の抗撃 / 基督中風者を癒し(馬九〇一、谷二〇二、路五〇十八) / 妻穂を摘み(馬十二〇一、路六〇一) / 手枯者を伸し因て非難の事(馬十二〇九、谷三〇一、路六〇六) / 第八章 基督馬竇を召し及び十二使徒を定め(路六〇十二) / 山上の訓に神福条を説き及び十誡の解釈の事(馬五〇二、路六〇廿) / 第九章 基督百夫長の僕を癒し(馬八〇五路七〇一) / 寡婦の子を蘇らせ(路七〇一) / 約翰の弟子に答ふ(馬十一〇二、路七〇十八) / ヘロデ洗者を殺す(馬十四〇一、谷六〇十四) / 淫婦の改行を赦し(路七〇卅六) / 及び母兄弟の訪來りし事(馬十二〇四十六、谷三〇三十六、路八〇十九) / 第十章 種時稗草芥種の譬論(馬十三〇一、谷四〇一、路八〇四) / 暴風波を鎮め(馬八〇廿二、谷四〇卅五、路八〇廿二) / 二人の悪魔を豚群に逐入る事(馬八〇廿八、谷五〇一、路八〇廿六) / 第十一章 基督迦百農に歸り馬竇の家にて税吏と會し(馬九〇十、谷二〇十五、路五〇廿九) / 旧約新約儀式の相異(馬九〇十、谷二〇十五、路五〇廿九) / 血漏の女を癒しヤイロの女を蘇し(馬九〇十八路八〇四十一) / 教導の方を示す事(馬九〇卅六同十〇五、谷六〇八、路九〇二) / 第十二章 基督洗手喫食の非難を解き(馬十五〇一、谷七〇一) / 迦南の婦を救ひ(馬十五〇二、谷七〇廿五) / 七箇の麵麩にて四千人を飽しめ(馬十五〇卅二、谷八〇一) / 反対者の誤謬を懲辱に譬喩ふ(馬十六〇六、谷八〇十五、路二〇一) / 伯祿を教会頭となす事(馬十六〇三十三、谷八〇廿七) / 第十三章 耶蘇山上に栄光の容を現し(馬十七〇一、谷九〇一、路九〇廿八) / 唾罵の悪魔を逐ひ(馬十七〇四、谷九〇十三、路九〇十八) / 聖殿へ納税し(馬十七〇廿三) / 小兒を祝福し(馬十八〇一、同十九〇十三、谷九〇三十二、路九〇四十六) / 徒弟に罪を赦す教訓の事(馬十八〇十五路十七〇三) / 第十四章 耶蘇結慮の節に耶路撒冷に赴く(約七〇二) / 撒馬利亜國を過ぐ(路九〇五十一) / 七十二人の門徒をベレヤに派遣す(路十〇一) / 途中學士と倫近人の問答をなし(路十〇廿五) / ラザロの家に泊し(路十〇卅八) / 橄欖山に携り(路十一〇一) / 反対者の誇りを解き(約七〇十五) / 姦婦の処分(約八〇一) / 生來の盲者を癒す事(約九〇一) / 第十五章 基督ベレヤ地方を巡回して法利賽の徒を駁撃し(路十一〇三十七同十二〇一) / 教の大切なるを示し(路十二〇十五) / 放蕩子(路十五〇十一) / 不義の主管者(路十六〇一) / 富者と貧者との譬論の事(路十六〇十九) / 第十六章 基督ラザロを蘇生させ(約十一〇一) / 十人の癩を癒し(路十七〇十二) / 祈禱は謙徳を旨とする其他種種の垂訓(路十八〇九) / 第十七章 耶蘇耶路撒冷に発程し己が受べき苦難歿死を予言し(馬廿〇十七、谷十〇卅二、路十八〇卅一) / 謙徳を説き(馬廿〇二十、谷十〇卅五) / イエリコに於て二人の盲目を癒し(馬廿〇二十九、谷十〇四十五) / ザケオの家に着し(路十九〇一) / ベタニヤに於てマリア、マグダレナ女が頭足に香油を注ぐ敬礼をうくる事(馬廿六〇六、谷十四〇三、路十二〇一) / 第十八章 基督驢馬に乗て京城に入る(馬廿一〇一、谷十一〇一、路十九〇廿八、約十二〇十二) / 無花果樹を詠ひ枯し(谷十一〇十一) / 聖殿内より商人を逐出す事(馬廿一〇十二、谷十一〇十五、路十九〇四十五) / 第十九章 基督神と國王とに従ふべき事を教ふ(馬廿二〇十五、谷十二〇十三、路二十〇二十) / 寶錢を投げし寡婦を譽め(谷十二〇四十一、路廿一〇一) / 聖殿の壊滅と世の末期とを説き(馬廿四〇一、谷十三〇一、路廿一〇五) / 猶太主を売る事(馬廿六〇四、谷十四〇十、路廿二〇三) / 第二十章 基督過越の晩餐を二人の徒弟に備へさしむ(馬廿六〇十七、谷十四〇十二、路廿二〇七) / 徒弟の足を洗ふ(約十三〇二) / 聖体の秘跡を建る事(馬廿六〇廿六、谷十四〇廿二、路廿二〇十九) / 第二十一章 基督の遺訓(約十三〇卅三) / 伯祿の己を否むべきを予言す(路廿二〇卅一、約十三〇卅六) / 基督徒弟の後に處遇せらるるを慰む(路廿二〇卅五) / 第二十二章 基督橄欖山の麓に至り葡萄樹の譬喩(約十五〇一) / 基督天父に祈願す(約十七〇一) / 第二十三章 基督ゲツマニ園にて死苦を感ず(馬廿六〇卅六、谷十四〇卅二、路廿二〇四十) / 兵卒に撃はられし事(約十八〇二) / 伯祿大司祭の僕を斬る事(約十八〇十) / 第二十四章 耶蘇を大司祭の庭にて訊問し(馬廿六〇五十七及廿七〇一、谷十四〇五十三及十五〇一、路廿二〇五十四及廿三〇一、約十八〇十三) / 伯祿主を否み(谷十四〇六十六) / 猶太自殺の事(馬廿七〇三) / 第二十五章 總督ピラト耶蘇を訊問し(馬廿七〇十一、谷十五〇二、路廿三〇三、約十八〇廿八同十九〇一) / ヘロデに遣はされ(路廿三〇六) / 再ピラトの庭にて耶蘇を鞭つ事(約十九〇一) / 第二十六章 ピラト耶蘇を死刑に定め(馬二十七、谷十五、路二十三、約十八及十九) / 耶蘇十字架を負てカルワリヨ山に引かれ(前同断) / 其架に釘つけられし事(前同断) / 第二十七章 耶蘇十字架の上にて其母を約翰に托す(約十九〇廿五) / 耶蘇息絶え(馬廿七〇五十五、谷十五〇卅七路廿三〇四十六、約十九〇三十) / 埋葬する事(前同断) / 第二十八章 基督復活の事(馬廿八、谷十六路廿四、約二十) / マリアマグダレナ及び聖女等に現るる事(前同断) / 第二十九章 基督復活の後使徒等に現れて罪の權を与ふ事(前同断) / 第三十章 使徒等加利冷垂へ歸り耶蘇の教訓を受く(約廿一〇一) / 伯祿に大牧者の任を托す(約廿一〇十五) / 基督上天の事(路廿四〇五十)</p>	<p>https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13362429</p>	<p>http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/825247</p>
----------------	--------------------------------	-----------	---------------------	-------------	-----------	---------------	-------------	--	--	--

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Shaw, Alexander Croft		エー・シー・ショウ		1846-1902		英国聖公会 (プロテスタント)		カナダ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00310	教義概要	単著	エ・シ・ショウ 著	吉沢直江	東京	1891.10	249p	第巻編/第巻章/第二章/第三章/第四章/第五章/第二編/第巻章/第二章/第三章/第四章/第五章/第六章/第七章/第八章/第九章/第十章	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824210
MB00311	聖餐礼釈義	単著	エ・シ・ショウ 著、吉沢直江 編	日曜叢誌社	東京	1891.7	97p	緒論/第一章/第二章/第三章ニケア信経/第四章/招請文/第五章懺悔文/赦罪文/慰の言/第六章/近接の禱文/第七章成聖文/第八章聖餐の教理/第九章執行の言/第十章聖餐式後部/	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA8572920X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824744

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Girard, Paul-Henri		P. H. ジラルール		1928-		カトリック・ドミニコ会		カナダ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00312	日用のかてを	単著	P.H.ジラルール 著	聖母の騎士社	長崎	1994.5	476p	教会典礼暦年《A》/待降節/降誕節/年間の主日/四旬節/復活節/年間の主日 (つづき) /教会典礼暦年《B》/待降節/降誕節/年間の主日/四旬節/復活節/年間の主日 (つづき) /教会典礼暦年《C》/待降節/降誕節/年間の主日/四旬節/復活節/年間の主日 (つづき) /ミサなして行われた葬儀の説教	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11219967	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Schomske, Conrad		コンラド・ショムスキ		1924-		カトリック・フランシスコ会		アメリカ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00313	念禱	単著	コンラド・ショムスキ 著	あかし書房	東京	1981.9	175p	まえがき/第一章 念禱の道/第二章 念禱の種類/第三章 祈りの本当の効果は日々の生活に現われる/第四章 種々の勧め/第五章 念禱の二つの方法/第六章 神との一致/第七章 心の痛み/第八章 祈る人の良い手本/第九章 自愛心-対-神への愛/第十章 念禱に役だつイエズスのご苦難/第十一章 念禱に役だつ詩篇/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04442152	-
MB00314	アシジの聖フランシスコの第三会ハンドブック	編集	コンラド ショムスキ 編	光明社	札幌	1959	211、77p	第三会の創立者アシジのフランシスコ 聖フランシスコの在俗第三会会則 第一章 入会、修練、誓約/第二章 生活上の規律/第三章 役目、視察及び本会則の性質/アシジの聖フランシスコの在俗第三会会憲/教令 序文/第一章 第三会の本質/第二章 生活上の規律/第三章 第三回の統治/第四章 権利と特典/第五章 会憲/免償/一 免償の一般的説明/二 教皇祝福/三 ボルチユンクラの免償/四 総赦又は全免償を与える祝福/五 全免償が付与される聖主、聖母、諸聖人の特別な祝日/六 フランシスコ会のロザリオ/七 毎月の集會に付与される全免償/八 ローマの指定巡礼聖堂/九 巡礼の免償 一〇 特典祭壇 一一 全免償が付与されるその他の特別な場合について 一二 分免償 総赦、全免償日の一覧表	-	-
MB00315	丹沢夜話 続々	単著	ハンス・シュトルテ 著	有隣堂	横浜	1995.5	246p	山はかもしかのすみか/峠/お百度参り/丹沢の尻尾/シブール/岩場はおこじよの隠れるねくら/入山料/東丹沢探検記 (一九四八-一九五三)/塔の山小屋物語/神の木々は潤いに満ちている/あけぼのすぎのロマン/山毛樗との出会い/原生林の奇/わたしの歌が神の喜びとなるように/丹沢の珍事/山始め/ムーンライト山歩/原生林にうたごえひびき……/白鳥の歌/丹沢賦-あとがきにかえて-	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07085244	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9541031
MB00316	丹沢夜話 続	単著	ハンス・シュトルテ 著	有隣堂	横浜	1991.1	232p	丹沢との出会い/天狗の三室と七つ道具/丹沢のエーデルワイス/たったひとりのクリスマス/丹沢地名考/丹沢山/瀧津の謎/地名の迷宮/丹沢の谷間をゆく/丹沢のトンネル/丹沢の水力発電所/丹沢の橋・昔と今/丹沢の西の果て/丹沢との半世紀/御殿場線賛歌/昭和の丹沢とともに/天狗の里帰り/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07085244	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9540803

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Stolte, Hans		ハンス・シュトルテ		1913-2007			カトリック・イエズス会		ドイツ	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00317	丹沢夜話	単著	ハンス・シュトルテ 著	有隣堂	横浜	1984.2	217p	丹沢—今は昔/丹沢とバス/塔ノ岳/塔ノ岳孫伝の和尚さん/塔ノ岳の孫伝若/丹沢林道の歴史散歩/木馬道/丹沢とともに/初日の出/オバケ沢/やぶいり/うたごえ/鳥との出会い/丹沢の七不思議/宝探し/丹沢の雪/雪の上の楽書き/薪ストーブの歌/夏の思い出/丹沢名木物語/札掛の大樫/札掛の用心棒/哀歌の樫/大山の神木/鼓掛の大槓/渡り鳥の白樺/大山の天狗杉/寄の杉/生きている化石・メタセコイア/宝守りの大樫/ゆかりの樺の木/西丹沢の箒杉物語/あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07085244	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/9539345

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Joly, Eugene		ジョリー		1869-1966			カトリック・パリ外国宣教会		フランス	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00318	信仰とは何か	単著	ウジェーン・ジョリー 著、A.デル・コール 訳	ドン・ポスコ社	東京	1959	257p	緒言—求める者、うたがう者—第1章 信仰とは何か?/第2章 神は自分を知らせた/第3章 私はイエズス・キリストを信ずる/第4章 信仰はかけである/第5章 信仰は会合である/第6章 宗教的経験/第7章 現代無神論の意味/第8章 信仰と知性/第9章 悪の問題/第10章 私たちの信仰の中心なるイエズスの復活/第11章 教会に対する信仰/第12章 宗教の多様性からくる反対論/第13章 教会外での救い/第14章 信仰の生活/第15章 信仰は神のたまものである/第16章 信仰の定義/第17章 われわれは愛を信じた/参考書	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11188025	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940205
MB00319	死の意味：戦時小説	共訳	ポール・ブルジエ 著、エウジエン・ジョリー、綾部千平 訳	綾部千平	宮崎町 (宮崎県)	1919	325p	序/著者ポール、ブルジエ先生、第一～第三十	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/959485
MB00320	宗教階梯 第1編	単著	ジョリー 著	日州新聞社	宮崎町 (宮崎県)	1916	100p	1905版の内容と相似。	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA4202509X	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/944114
MB00321	宗教階梯 第1編	単著	ジョリ 著	三才社	宮崎町 (宮崎県)	1905	2冊 (144, 166p)	序/真の宗教の弁明/第一部 信す可き事/使徒信教の事/第一条、吾れは天地の創造主全能の父なる天主を信ず/第二条、天主の御独子吾等の主耶穌基督/第三条、聖霊に由りて孕り童貞マリアより生まれ/第四条、ポンショピラトの管下にて苦を受け十字架に釘けられ死して葬られ/第五条、古聖所に下りて三日目に死者の中より復活/第六条、天に昇りて全能の父なる天主の右に坐し/第七条、彼所より生ける人と死せる人を審かふ為に来り給ふ主を信ず/第八条、聖霊/第九条、聖公会諸聖人の通功/第十条、罪の赦免/第十一条、肉身の復活/第十二条、終りなき命を信じ奉る	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11387123	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824519
MB00322	通俗宗教階梯 第2編	単著	ジョリ 著	三才社	宮崎町 (宮崎県)	1907	2冊 (144, 166p)	序/使徒信經の事/第一条 天地の創造主/第二条 吾等の主耶穌基督/第三条 聖霊/第四条 聖公会諸聖人の通功/第五条 罪の赦免/第六条 肉身の復活/第七条 終りなき命	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN11387123	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/824520

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
López-Silonis, Rafael		ラファエル・ロベス・シロニス		1925-1996			カトリック・イエズス会		スペイン	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00323	エリウゲナの思想と中世の新プラトン主義	単著	ラファエル・ロベス・シロニス 著	創文社	東京	1992.2	373、22p	目次：序言/序論/第一部 教父時代の新プラトン主義 第一章 ギリシア教父における神の像である人間/第二章 ニュッサのグレゴリオにおける否定神学/第三章 偽ディオニュシオスとエリウゲナにおける「善の自己拡散」/第四章 偽ディオニュシオスとエリウゲナにおける肯定神学と否定神学/第二部 エリウゲナにおける神と人間 第五章 エリウゲナにおける肯定神学と否定神学の弁証法/第六章 エリウゲナにおける肯定神学と否定神学の意義と根拠/第七章 エリウゲナの間論/第八章 エリウゲナの認識論における新プラトン主義的性格/第九章 エリウゲナの学問観/第三部 エリウゲナとそれ以後の時代の思想—中世思想の連続性と発展— 第十章 十二世紀の神秘神学者に見る神についての知と無知/第十一章 中世思想における理性と信仰/第十二章 現代における理性と信仰/第十三章 神に関する言葉の類比/付録一 西田幾多郎における中世のキリスト教神学者の引用/付録二 現代において神を語ること/あとがき/文献表/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN07370058	-

MB00324	旅する人間と神：哲学的神学の素描	単著	R.ロベス・シロニス 著	中央出版社	東京	1993.4	248p	目次：序論／第一部 G.マルセルの思想 第一章 G.マルセルの思想における人身体験と信仰／第二部 人間と超越者 第一章 神概念とその起源の問題／第二章 現代における不信仰と信仰／第三章 現代、神について語ることの問題／第四章 神の存在の証明／第五章 人生の意義と神の存在／第六章 良心と神の存在／第七章 創造の思想とその現代的意義／付録 現代の哲学的無神論の根源／注／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN09347647	-
---------	----------------------------------	----	--------------	-------	----	--------	------	--	---	---

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
D'Souza, Valentine L		バレンタイン・デ・スーザ		1946-		カトリック・エイズ会		インド		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00325	人生を祝福する「老い」のレッスン = Lessons to bless the life of the "old"	単著	バレンタイン・デ・スーザ 著	幻冬舎ルネッサンス	東京	2013/初版、 2016/幻冬舎より初版	207p	目次：はじめに／1章 老いをポジティブに受け止める I 老いの中には次世代への宝が眠っている／II 心の渇きを癒やすこと／III あなたの知恵を周囲の方々に伝えてください／IV 老いをポジティブに受け止める／2章 穏やかに老いる I 年をとることに定義はない／II 穏やかに年をとるにはどうすればよいか／III 本来の自分、良い自分を取り戻す／IV 年配者の役割を自覚すること／3章 寿命100歳の時代を生きる I ストレスこそ老いの大敵／II 自分の健康は自分で守る／III いくつになっても目標を持とう／IV 宗教心と長生きの関係とは／V 病と仲良くする／4章 年齢を重ねても前を向いて生きる I あなた自身を大切にしてください／II 相手の負担にならない心遣い／III 掛け替えのない人を大切にしていますか／IV 周囲の人にいつも気を遣わせていませんか／V リフレッシュの大切さを忘れていませんか／5章 老いと楽しくつきあう I 年齢をどう受け入れるか／II 人生における満足感とは／III 愛に包まれた生活をしなさい／IV 介護するとき、されるとき／V 生活の質をあげる老い方／おわり	-	-
MB00326	やさしさの愛につつまれて	単著	バレンタイン・デ・スーザ 著	女子パウロ会	東京	2006/初版、 2007/2刷	71p	目次：祈り (1) /いのち/愛・優しさ・ゆるし/苦しみ/恵み/日々の生活/人とのかわり/祈りと信仰/心/生きる/祈り (2) /あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA79633296	-
MB00327	そよ風のように生きる：旅ゆくあなたへ	単著	バレンタイン・デ・スーザ 著	女子パウロ会	東京	1991/初版、 1992/6版	65p	目次：愛と優しさ/祈り/ひとのかかわり/日々の生活/いのち/神と出会う/信仰/たまもの/悟り/あとがき	-	-
MB00328	神様は私たちという：バレンタイン神父のお話から	単著	バレンタイン・デ・スーザ 著	紀尾井書房	東京	1985.1/第1刷、 1985.10/第4刷、 1998/改訂版第1刷	71p	目次：(略目次) 母からの手紙/私の司祭としての仕事/人を受け入れるI/分け隔てのなり愛/信者の資格/空っぽの器/質いい態度/みことばの厳しさ/おこった思い/本当の自由と独立/聖書的態度/言葉による殺人/思い上がった心/神様の計画に従って歩む/生命あるものの神秘/見えない神/本当に大切なもの/ありのままの愛/素直な人間関係/音の無い状態/磁石のようなイエス/心のイエス様/人への理解/裏切り/日々の生活の中の恵み/インドの古いたとえ話/幸せを運ぶ人	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA73469098	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Zivi, Pascal		バスカル・ズィヴィー		1957-		筑波学園教会 (プロテスタント)		フランス		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00329	"あわれみ"の心イエスの道	単著	バスカル・ズィヴィー 著	いのちのことば社	東京	2017.4	109p	目次：はじめに／第1章 "あわれみ"という言葉の深さ／第2章 怒りの感情を持つのはごく普通のことである／第3章 セルフ・コンパッション (自分への優しさ)／第4章 悲しみや苦しみの中にいる人／第5章 "あわれみ"の心 を窒息させる危険な思考システム／第6章 尊重の重要性／あとがき	-	-
MB00330	霊の戦い：虚構と真実	単著	ウィリアム・ウッド、バスカル・ズィヴィー 著	いのちのことば社	東京	2011.3	119p	目次：序文 村上密/I ヨブ記に学ぶ「霊の戦い」(ウィリアム・ウッド) /II 霊の戦い—虚構と真実(バスカル・ズィヴィー) /第1章「ロゴス」と「レーマ」の虚偽の教義 /第2章「先祖の罪」・「先祖の呪い」の虚偽の教義 /第3章「縛る」と「解く」の虚偽の教義 /第4章「地域の霊」の虚偽の教義 /第5章 ほかの福音 /おわりに	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB06049069	-
MB00331	"「信仰」という名の虐待"からの回復：心のアフターケア	単著	バスカル・ズィヴィー 著	いのちのことば社	東京	2008.4	119p	目次：推薦のことば 松永堡智/はじめね なぜこのブックレット? /一 被害者の心理的問題 /二 回復に向かって /三 周囲の人たちのために /四 被害を受けた方へ /あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA85784445	-

MB00332	「信仰」という名の虐待	共著	マインド・コントロール研究所 編、パスカル・ズィヴィー、福沢満雄、志村真 著	いのちのこぼれ	東京	2002.5/初版、2002.10/3刷	95p	目次：はじめに/1章「信仰」という名の虐待/2章 信仰生活の中で虐待され、傷ついた人々の訴え/3章 「信徒を虐待し危害をもたらす宗教思想・信仰信条」を考える	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA56833252	-
MB00333	マインド・コントロールからの脱出：統一教会信者たちのこころ	単著	パスカル・ズィヴィー 著	恒友出版	東京	1995.9	286p	目次：推薦のことば 浅見定雄/推薦のことば 西田公昭/はじめに/1章 破壊的カルトとは何か/2章 なぜ統一教会に入るのか/3章 恐怖/4章 思考停止/5章 二重の自己/6章 統一教会にいるときの心理状態/7章 カウンセリング/8章 リハビリテーション/9章 脱会したあとの心理状態/10章 証言/あとがき/引用文献/参考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN13219527	-
MB00334	水切り遊び：リッコシェー	単著	パスカル・ズィヴィー著	キリスト教視聴覚センター	東京	1998	167p	はじめに/第1章 時間/第2章 愛/第3章 憐れみ/第4章 寛容/第5章 苦しみ/第6章 ゆるし、忘れ/第7章 死/第8章 水切り遊び 日本の父親たちへの手紙/少し長い「あとがき」	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA40494293	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年		所属		出身国		
Scheurs, Johannes		ヨハネ・スクルース		1925-2016		カトリック・淳心会		オランダ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00335	明治時代の播磨国とカトリック教会	単著	ヨハネ・スクルース 著	淳心会	姫路	1977	179p	刊行によせて/一、幕末からの明治維新の播磨/二、浄世夫彦=浜田彦蔵/三、姫路での追放者/四、神戸教会/五、播磨における最初の信者/六、マリア・常峰すみ/七、孤児院と播磨/八、ガスバール・下村鉄之助/九、明治初期の回顧/十、播磨の最初の巡回教会/十一、姫路の仮教会/十二、播磨の伝道師 あとがき/年表/引用参考文献/索引	-	-
MB00336	播磨の切利支丹史	単著	ヨハネ・スクルース (西脇カトリック教会)	セルフ社	大阪	1986	300p	前書/第一章 織田信長と豊臣秀吉の時代/第二章 徳川時代の初期/第三章 ポロ師が指導した播磨の教会 (一六一三年~一六二五年)/第四章 徳川家光の時代 (一六二五年~一六五一年)/第五章 迫害の廃止と信仰の自由まで (一八八九年)/付録/索引	-	-
MB00337	日本205福者殉教者：だれがだれであるか。：福者録	編集	ヨハネ・スクルース編	カトリック淳心会	〔出版社不明〕	2001	100p	1. Pedro de la Asuncion, João Bautista Machado de Távora/2. Alonso Navarrette, Hernando de S. José Ayala, ガスバール彦次郎、アンデレ吉田、リアン田中/3. Juan de Santa Marta/4. Juan de Santo Domingo/5. レオナルド木村/6. コスメ竹屋、妻イネス、子フランシスコ、アンデレ徳庵、妻マリア、ジョアン吉田、妻マリア、Domingo Jorge/7. トマス籠手田、アントニオ木村、ミゲル竹下、マチアス中野、ロマン松岡、マチアス小笠、ジョアン本山、リアン中西、アレシオ中村、ジョアン若永、バルトロメウ関/8. 有馬のマチヤス/9. シモン清田、妻マダレナ、トメ源五郎、妻マリア、子ジャコベ/10. Pedro de Zúñiga, Luis Flores, ディアス平山常陳、水夫12人、ルイス弥吉、妻子/11. Francisco de Morales, Alonso de Menã, ドミンゴ永田/12. Jacinto Orfanel, ドミンゴ丹波/13. Angelo Orsucci, トマス・デル・ロサリオ/14. José de San Jacinto, アレシオ、パウロ田中、妻マリア、ルフォア石本、クレメント・ボノー、子アントニオ/15. Richard de Santa Anna, Petro d'Avila, Vicente de San José, 薩摩のレアン/16. Carlo Spinola, Ambrosio Fernandes, ジョアン中国、Isabella, Ignation, ルイス河原/17. セバスチアン木村、メト赤星、アントニオ、妻マリア、子二人、バルトロメウ七右衛門、子ベトロ/18. アントニオ・キウニ、ゴンサロ扶斎、ベトロ三甫、ミゲル春甫/19. Lucia de Freitas/20. アントニオ三箇、妻マダレナ/21. Tomás de Zumárraga, バウロ永石、妻テクラ、子ベトロ マンシヨ・デ・サン、ドミンゴ孫七/22. ドミンゴ山田、妻クララ、ダミアノ・ヤミチ多田、子ミゲル、トマス七郎、アポロニヤ、ドミニカ尾形、カタリナ、マリア/23. Apolinar Franco, バウロ・デ・サンタ・クララ、フランシスコ・デ・サンボナヴェントウラ/24. Camillo Costanzo, アウグスチノ太田、ガスバール籠手田/25. Pietro Paulo Navarro, ディオニス藤島、ベトロ鬼塚、クレメンテ右衛門/26. Francisco Galvez/27. Jeronimo de Angelis, Diogo Carvalho, シモン遠甫/28. Miguel Carvalho/29. Pedro Vasquez, ガヨ/30. Luis Sotelo, ルイス笹田、ルイス馬場/31. Francisco Pacheco, ガスバール定松、ベトロ・リンセイ、ジョアン喜作、パウロ新助/32. Baltasar de Torres, ミゲル藤蔵/33. Giovanni Battista Zola, ビセンテ・カウ/34. マンシヨ荒木彦左衛門、マチアス荒井喜左衛門、ベトロ荒木ヨリ庄兵衛、妻ザンナ、ジョアン・ミノ田中、妻カタリナ、ジョアン内膳・長井、妻モニカ、子ルイス/35. Luis Bertran Exarch, マンシヨ・デ・ラ・クルース、ベトロ・デ・サンタ・マリア/36. フランシスコ丸丸兵衛、ガヨ次右衛門、マダレナ清田、フランシスカ/37. Francisco de Santa Maria, Bartolomeo Laurel, アントニオ・デ・サンフランシスコ、トメ大、ガスバール・バエーズ、妻マリア、ルイス松尾、マルティン・ゴメス、ルカ喜右衛門、フランシスコ丸兵衛、ミゲル喜左衛門/38. トマス辻、ルイス楨、子ジョアン/39. Domingo Castellet, トマス・デ・サンバシント アントニオ・デ・サントミンゴ/40. Antonio de San Buenaventura, 長崎のドミンゴ/41. ジョアン戸町、子4人、ルイス二八、子2人、ルシア、ジョアン今村、パウロ相原三太夫、マチヤス・アルバレス、ロマン、子レオ、ディエゴ林田、ミゲル山田、子ロレンソ/42. ミゲル千物屋、子パウロ、ドミンゴ庄兵衛/43. ミゲル中島三郎右衛門/44. ジョアン庄三郎、ミゲル・キウチ、ベトロ丸兵衛、ロレンソ八蔵、トマス・テライ・カヒョエ、マンシヨ清左衛門/45. Bartolomé Gutiérrez, Vicente de San Antonio, Francisco de Jesús/46. アントニオ石田/47. ホロニモ・デ・ラ・クルス (城)/48. ガブリエル・デ・ラ・マダレナ/殉教者の身分、国籍表/殉教者の国籍、殉教年表	-	-

MB00338	中国地方の宣教 : カトリック広島司教区創立以前1880年から1923年	単著	ヨハネ・スクルース著、カトリック広島司教区編	カトリック広島司教区	〔広島〕	2004.9	46p	・この小冊子の趣旨（広島教区設立以前の宣教活動）／・中国五県の教会地区の図（1880年—1923年）／・宣教師が滞在した時期（1880年—1923年）／・教会地区における宣教師（1880年—1923年）／・宣教師の写真（1919年）／・参考文献／1、岡山地区 1880年から／2、福山地区 1895年—1911年／3、玉島地区 1899年から／4、広島地区 1882年から／5、山口地区 1889年から／6、萩地区 1895年から／7、下関地区 1905年から／8、松江地区 1897年から／9、鳥取地区 1892年から	-	-
MB00339	初期大阪司教区の伝道者達			倉敷：ヨハネ・スクルース		1991.6	132p	明治時代の伝道職の起源／牢屋巡りをしたミゲル元助／ペトロ野浜安五郎／フランシスコ小島準治／ロレンチオ西田芳松／ペトロ深堀政吉／ガスバルレ下村鉄之助／道案内する盲人ヤコボ山本兼蔵／パウロ磯村貞俊／ヨセフ加古義一／ヨハネ山田義太郎／真理を探究したヨハネ牧野登美夫／伝道と伝道者の評論家パウロ青木章三郎／ヨセフ酒井光寛／パウロ金森知二郎／パウロ・フランシスコ豊田昇道／パウロ森六郎／イシドロ片山義蔵／ヨセフ吉川五六／ヨセフ瀬島庫治夫妻／フランシスコ青木佐次郎夫妻／索引／明治時代に大阪教区内に創立された教会／明治時代に大阪教区に活躍した宣教師／明治時代から大阪教区に活動した伝道者		

宣教師名 Straelen, Henricus van		宣教師名 (J) H. ファン・ストラレン		生没年 1903-		所属 カトリック・神言会		出身国 オランダ		
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次／内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00340	マルセル哲学の人間像	共編	岳野慶作、ファンストラレン共編	中央出版社	東京	1966/初版、1967/再版	293p	まえがき／第一部 実存哲学とマルセル哲学／第一章 実存の郷愁／第二章 遍歴の哲学者／第三章 実存から存在へ／第二部 人間、この遍歴者／第一章 私と他者／第二章 希望の現象学と形而上学試論／第三章 家族の秘蔵／第四章 価値と不滅／探考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01913831	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2978012
MB00341	絶対への旅：司祭黙想指導書	共著	H.ファン・ストラレン、平塚武 共著	エンデルレ書店	東京	1965	474p	I 幼年の歌／II 最後の旅／III 偽聖人と眞の聖人 1／IV 偽聖人と眞の聖人 2／V 原子力時代の司祭／VI 司祭と女性／VII 司祭とユカリスチア／VIII 司祭と聖書／IX 山上の説教 1 心の貧しき人／X 山上の説教 2 悲しむ人／XI 山上の説教 3 迫害と光栄／XII 修道生活の本質／XIII 他宗への態度 1／XIV 他宗への態度 2／XV 信仰と愛／XVI 望み／XVII 白鳥の歌	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15124374	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940857
MB00342	神父ソ連へ行く	単著	ファン・ストラレン 著	エンデルレ書店	東京	1961	255p	まえがき／1 初めて見るモスクワの表情／2 外人は監視されるか？／3 地下鉄は大したものだが／4 ルーブルの値うち／5 モスクワのマンモス大学／6 共産主義という宗教／7 芸術のクレムリンと政治のクレムリン／8 トルストイの家で／9 今も残る聖地ザホルスク／10 死と老人医学／11 市民の娯楽おさえられぬ退屈／12 矛盾と不釣合ロシア人かたぎ／13 エキスポ千遍一律の芸術と慢性的農業不振／14 モスクワからレーニングラードへ／15 時代で変る人間評価／16 エルミタージュと図書館での驚き／17 未来の市民はどう教育されるか／18 奇跡の復興都市レーニングラード／19 ふたたびモスクワへ／20 第二十五回国際東洋学会／21 学会中のある出来ごと／22 あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN08713841	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2984421
MB00343	聖寵を浴びて	共著	H.ファン・ストラレン、岳野慶作 著	エンデルレ書店	東京	1958	373p	序にかえて／第一章 印象深い葬儀／第二章 最後の接吻／第三章 あけぼのの如くに／第四章 罪を償う靈魂／第五章 愛の開花／第六章 わが名を呼ぶ声／第七章 薄れ行く世俗の影／第八章 神と悪魔との極印／第九章 愛と喜びとの母／第十章 奉仕による支配／第十一章 戦乱のさなかに／第十二章 暗夜の燈台の如くに／第十三章 英雄的信仰／第十四章 英雄的希望／第十五章 英雄的愛徳	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA39006428	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3022170
MB00344	平和の山：聖ベネディクトの精神	単著	ファン・ストラレン 著	エンデルレ書店	東京	1956	447p	ベネディクト会総長の寄せた序／序／修道生活の黎明／文明とキリスト教との総合／聖ベネディクトの少年時代／祝福さるべき廻り道／偉業の完成／定住誓願／新しき人間（操行改選の誓願）／従順、されど兵士の如くならざる、死人の如くもあらざる／清貧、最善の物質利用法／祈り、働け（労働）／創造の御言葉／永久の讃美／ベネディクト会将来の展望／戒律の解説／聖ベネディクト戒律（本文）／附 引用文献表	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA50930074	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2939054
MB00345	沈黙の園：トラピストの精神	単著	ファン・ストラレン 著	中央出版社	東京	1955	468p	シトー会総長の寄せた序／序／希望は恥を来さず／汝その時を知らざれば／なのお勝れたる道を／自然の中に／活ける水／祈れ働け／極みまで愛し給えり／汝等誘惑に入らざらんために／我濁く／我は復活なり／我を受けいれ給え／汝等鳩の如く／光は人の前に／最初の愛を離すなかれ／よりよきもの／回勅「聖ベルナルド」の解説（メルトンによる）／回勅「聖ベルナルド散（教皇ピオ十二世）／聖ベルナルドの教説	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN14879441	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940814

MB00346	光を浴びて：黙想指導書	単著	ファン・ストラーレン著	ドン・ボスコ社	東京	1938	188p	一、沈黙に入り度い/二、永遠の人々/三、世の呪ひ、靈魂の疫病/四、靈界の門/五、御慈悲の雅歌/六、沈黙の教/七、艱難汝を珠にす/八、いと高き愛の御姿/九、知られない神/十、生きる喜び/十一、永遠の立場から	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1037723
MB00347	人間この孤独なるもの：実存主義へのまえがき	単著	ファン・ストラーレン著	丸善	東京	1952	74p	序/人間この孤独なるもの/註/参考文献	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA34800985	-
MB00348	ガブリエル・マルセル：現代最高の実存哲学者	共著	岳野 慶作共著、ファン・スレラレン共著	帝都育英学院	東京	1957	259、4p	第一章 実存への郷愁/第二章 心の通いの人/第三章 現存の哲学者/第四章 私と他者/第五章 希望の形而上学/第六章 家族の秘儀/BIBLIOGRAPHY	二	
MB00349	聖ベネディクトの修道戒律	著訳	ファン・ストラーレン著 訳	ヘンデルレ書店	不明	1958	87p	序/1 修道者の種別/2 修道院長はいかなる人であるべきか/3 修友を会議に招集する方法/4 善業の要具/5 服従について/6 沈黙の精神について/7 謙遜について/8 夜間の聖務日課について/9 夜間の聖務において多くの詩篇が歌われるべきことについて/10 夏季における夜間聖務の誦え方について/11 日曜日における夜間聖務の誦え方について/12 朝課の誦え方について/13 平日における朝課の誦え方について/14 聖人の祝日における夜課の誦え方について/15 アレレヤはいつ誦えるか/16 日中聖務日課を誦える方法について/17 これらの時禱において誦えるべき詩篇の数について/18 詩篇誦詠の順序/19 聖務日課の誦え方/20 祈りにおける恭敬/21 修道院の副院長/22 修道者はいかように眠るべきか/23 過失による破門について/24 破門の程度はいかにあるべきか/25 重い過失について/26 許可なく破門者に接した人々について/27 修道院長は破門者に対していかなる配慮をなすべきか/28 ししばしば矯正されても改めない者について/29 修道院を去った修友は再入院を許さるべきか/30 児童はどのように矯正さるべきか/31 修道院の出納係について/32 修道院の道具と所有について/33 修道者は私有物をもってはならないこと/34 必需品は公平に供給すべきこと/35 台所の週務者について/36 病める修友について/37 老人と幼童について/38 読書週務者について/39 食物の分量について/40 飲料の分量について/41 食事の時間について/42 終課後の沈黙について/43 聖務日課あるいは食卓に後れた者について/44 破門者が償いを果す方法について/45 聖堂で過失を犯した者について/46 他の事柄に関して過失を犯した者について/47 聖務日課の時刻を告げる合図について/48 毎日の作業について/49 四旬節の遵守について/50 祈禱所から遠くにある修友もしくは旅行中の修友について/51 近地外出の修友について/52 修道院の祈禱所について/53 来客の待遇について/54 手紙あるいはその他のものを受領すべきか否かについて/55 修友の衣服および靴について/56 修道院長の食卓について/57 修道院の技術者について/58 修友を受け入れる方法について/59 貴族もしくは貧家の子弟で献身せる者について/60 修道院に居住することを望む司祭たちについて/61 外来の修道者を迎える方法について/62 修道院の司祭について/63 共同体における順位について/64 修道院長の叙階について/65 修道院の副院長について/66 修道院の受付について/67 旅行に出る修友について/68 不可能なことを命ぜられた修友について/69 修道者は相互に弁護してはならない/70 だれも無暗に罰を加えてはならない/71 修友相互間の服従について/72 修道者が有すべき良き熱誠について/73 本戒律は義の遵守をことごとく定めていないことについて	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15988522	-
MB00350	世界に呼びかける教会	編集		サンパウロ	東京	1968.11	735p	「教会の宣教活動に関する教令」解説/緒論 ハンリー・ファン・ストラーレン/第1章 教義上の諸原則 ハンリー・ファン・ストラーレン/第2章 宣教活動 ハンリー・ファン・ストラーレン/第3章 部分教会 ハンリー・ファン・ストラーレン/第4章 宣教師 ハンリー・ファン・ストラーレン/第5章 宣教活動の調整 ハンリー・ファン・ストラーレン/第6章 協力 ハンリー・ファン・ストラーレン/結論/「神の啓示に関する教義憲章」解説/序文 H・クルーゼ/第1章 啓示そのものについて H・クルーゼ/第2章 神の啓示の伝達 H・クルーゼ/第3章 聖書の靈感とその解釈 H・クルーゼ/第4章 旧約について 三好迪/第5章 新約について 三好迪/第6章 教会の生活における聖書 浜寛五郎/「エキュメニズムに関する教令」解説/エキュメニズム 伊藤庄治郎/エキュメニカル運動 アンリー・モラ/エキュメニズム P・ネメシエギ	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04432862	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2529295

宣教師名 Cesselin, G		宣教師名 (J) セスラン			生没年 1873-1944		所属 カトリック・パリ外国宣教会		出身国 フランス	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00351	和仏大辞典	単著	セスラン 著	明西社	東京	1957	2365p	目次なし	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN0933108X	-

宣教師名 Cettour, Jeremy		宣教師名 (J) ゼレミ・セツール			生没年 1867-1962		所属 カトリック・パリ外国宣教会		出身国 フランス	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00352	憂き人の慰安	独訳	ゼ・セツール 訳	聖若瑟教育院	大阪	1914	357p	はしがき/一月 十字架を負ふべし/二月 十字架は必要なり/三月 十字架は如何に人心を潔むるか/四月 十字架は如何に聖ならしむるか/五月 十字架は光榮を歸せしむ/六月 十字架の価値/七月 十字架は如何に幸福なるか/八月 耶穌と共に十字架を負ふべし/九月 耶穌の如くに十字架を負ふべし/十月 耶穌の爲に十字架を負ふべし/十一月 忍耐と服従とを以て十字架を負ふべし/十二月 喜悅と感謝とを以て十字架を負ふべし/附録/主耶穌の攝理に委ね奉る祈禱/御苦難の主耶穌に對する祈禱/憂ひ悲む者の爲に (バレイブ靈父の祈禱) /悲哀の聖母に向つての祈禱/貴重な今日	-	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/906876

宣教師名 Cermeño, Antonio		宣教師名 (J) アントニオ・セルメニオ			生没年 1901-1985		所属 カトリック・イエズス会		出身国 スペイン	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00353	キリスト教と日本文化：滞日四十八年、一宣教師の見た日本人洞察	単著	アントニオ・セルメニオ 著	イエズス会レジデンス	山口	1984.8	154p	目次：光明への歩み/光と闇/キリシタンの発展/キリスト教と愛国心/大和魂/茶の湯/茶道の本質/茶席/茶の湯の理論/茶道とカトリック/高山南の坊と南坊宗啓/松尾芭蕉と茶の湯/織部灯籠/武士道・キリスト教・明治維新/歴史の教訓/武士道は義務遂行の道/武士道の眞の名誉/敵、味方/最高といえるもの/武士道は正義である/眞実を認めるべき日本/スペインの影響/寛大な民族/子供の殉教/婦人の殉教/男子の殉教/踏絵/復活の奇跡/光榮の道/八紘一宇/迷路を歩いた民/日本人とキリスト教国の人たち/反省/輝きの黎明	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04438257	-
MB00354	聖将高山右近	単著	アントニオ・セルメニオ 著	中央出版社	東京	1951/初版、1965/再版、1997/サンパウロから再版	183p	序/第一編 日本の勇将 マンレサの洞窟の右近像/おいたち/高槻城主となる/高槻城下におけるキリシタンの興隆/右近の謙虚/右近の信念/右近の軍功/秀吉の覇業/大阪城と右近/茶の湯と右近 第二編 神の戦士/嵐/最初の犠牲者/復位のうわさ/金沢/秀吉の晩年/サン・フェリペ号事件/迫害の旋風起こる/栄冠をめぐる/休戦/台風迫る/家康の秘事/秀頼、高山右近を懇望す/信念ゆるがず/選ばれた者/追放地への出発/右近の悩み/瀬戸内海/最後への準備/祖国よ、さらば/閩南/マニラの凱旋/信仰の喜び/永遠の光明/聖人の最期/偉大な功績/マニラの嘆き/未曾有の葬儀/遺骨のゆくえ/右近の列福への昇格とその影響	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA36366915	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2940427
MB00355	純心なる心	単著	アントニオ・セルメニオ 著	下関市長府町カトリック教会	不明	1962	98p	目次なし	-	-

宣教師名		宣教師名 (J)		生没年			所属		出身国	
Sopeña, Juan J. L.		ホアン・ソベニヤ		1927-1991			カトリック・イエズス会		スペイン	
目録番号	書名 (別タイトル)	単・共著	共著者、翻訳者など	出版社	出版地	出版年	頁数	目次/内容細目	CINII書誌	国デジ (NDL)
MB00356	人間はいかに生くべきか	単著	ホアン・J.ソベニヤ 著、 神吉敬三 訳	理想社	東京	1967	203p	まえがき/第一章 人間と人格/1 個人とペルソナ/2 個性と人格/3 人格の発展 第二章 われ—固有の人格/1 意味、運命、使命/2 個性を形成する環境と人格/3 仮面—外界とペルソナ/4 教育 第三章 われとなんじの関係/1 他者に対する能動的—受動的傾向/2 存在とは共存 である/3 われからなんじへの移行—愛/4 性と愛—その諸様相/5 愛と意志—愛 における意志の役割—/6 愛の領域—その階層/7 隣人に対する愛—キリスト教的愛 第四章 われわれ—社会/A ペルソナと社会 I 社会の本質/II 人間は社会の根源であり、基礎である/III ペルソナにとって社会は 必要不可欠である/B 社会特有の目的としての共通善/I ペルソナと社会との関係/II 社会の本来の目的である共通善 第五章 社会の形態と人格/I 社会の諸形態/1 家庭/2 「われ」の環境/3 国民 /4 国家/5 宗教社会/II 社会的状況—人間の尊厳をおびやかす状況—/1 奴隷 制度/2 全体主義/3 民族主義/4 人種差別/5 共産主義/6 カスト 第六章 人間と神/1 破造性/2 人間はすべての人間の兄弟である/3 人間生活の 聖なる意義/結び	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA36482836	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2969962
MB00357	現代の人間像	単著	ソベニヤ 著	理想社	東京	1966	231p	序章 人間—未解なる問い/ (I) 人格の概念 (1) その語源的考察/ (2) 人格の定義 (II) 人間の尊厳/ (1) 人間は「考える葷」である/ (2) 人間—ダイナミックなもの / (III) 自然と人間/ (1) 人間—制限された自由—/ (2) 人間の矛盾—物質のもの でもなく純粋精神でもない存在/ (3) ペルソナと自然—その関係— 第一部 人間と今日の世界観 第一章 個人主義的ヒューマニズム/ (1) 個人主義的ヒューマニズムの先駆者/ (2) 個人主義哲学/第二章 弁証法的唯物論の人間像/ (1) 新しい人間観/ (2) 解放され た人間/ (3) 弁証法的唯物論、すなわち無神論的ヒューマニズム/ (4) アルベール・ カミュの批判/ (5) マルクスの人間と社会/ (6) 新しい人間/ (7) 弁証法的唯物 論、疑似神秘主義 第三章 キリスト教的存在観/ (1) キリスト教の歴史的・教理的立場/ (2) 人間中心 主義よりキリスト中心主義へ/ (3) 神秘体の教理/ (4) キリスト教的人間とその尊厳 性/ (5) キリスト教的社会 第二部 近代哲学の三問題 第一章 人間と価値/ (1) 善、目的、価値/ (2) 価値の現象学—マックス・シェー ラーにおける人間と価値—/ (3) 価値の形而上学—ルイ・ラヴェル—/ (4) 価値とペ ルソナの客観的展開 第二章 実存と人間—人間の実存主義的概念— (1) 実存主義の概念/ (2) 実存主義に おける方法論/ (3) 実存主義の歴史的概観/ (4) 実存主義的人間観の拡張/ (5) 結 論/第三章 人間と時間/ (1) 時間の体験—苦痛・忍耐—/ (2) 人間の時間的条件/ (3) 生命の実現者としての時間/ (4) 死に対する人間の心理/ (5) 死に対する態度 / (6) 死に関する思索/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN04690766	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2969455
MB00358	人間形成の探求	共著	ソベニヤ、井上英治 共 著	理想社	東京	1969	240p	目次: まえがき/— 人間とは何か/ (一) 人格とは何か/ (二) 人間の尊厳/ (三) 自然 と人間/二 人間の個性と人格 (性) /三 「われ」について/四 「われとなんじ」 について/五 「われわれ」 (社会) について/ (一) 人格と社会/ (二) 社会の目的とし ての共通善/ (三) 社会の形態と人格との関係/六 人間と聖なるもの/七 結び/あと がき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN03863723	-
MB00359	スペイン：フランコの四〇年	単著	J.ソベニヤ 著	講談社	東京	1977.6	224p	目次: まえがき/第1章 二つのスペイン/第2章 フランコとスペイン内戦/第3章 廃墟からの国家建設/第4章 試験にたつスペイン/第5章 フランコ・スペインの勝利 /第6章 フランコ時代の終焉/参考文献/年表/索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02116952	-

MB00360	スペイン人民戦線史料	編著	J.J.L.ソペーニャ 編著	法政大学出版局	東京	1980.5	533、 11p	目次：第一部（1935年12月14日—1936年2月19日）第一章 人民戦線勝利の総選挙／第二章 人民戦線陣営の選挙運動／第三章 右派の選挙運動／第四章 その他の立場／第五章 人民戦線政府成立に対する反応／第二部（1936年2月19日—5月19日）第六章 話し合いの不可能な期間／第七章 人民戦線と共産党／第三部（1936年5月19日—7月18日）第八章 人民戦線の悲劇／第九章 人民戦線の崩壊／第十章 内戦への最後の歩み／第十一章 スペイン、内戦に突入／注／参考史料	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN00313908	-
MB00361	スペインを解く鍵	単著	フアン・ソペーニャ 著	平凡社	東京	1986.6	270p	目次：第一章 スペインとは何か／第二章 カスティリヤとカタルニャ／第三章 カトリック両王時代の現実／第四章 病めるスペイン帝国／第五章 実現できなかった革命／第六章 名画が語るスペイン史／第七章 スペインとバスクのナショナリズム／第八章 内乱の克服／あとがき／スペイン史年表／引用文献リスト／索引	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN02056307	-
MB00362	スペイン内戦と列強：1936年	共著	ソペニャ、小林一宏 共著	桂書房	東京	1967	238p	はしがき／序説／ポルトガル／イタリア／ドイツ／フランス／ソ連／イギリス／附記（一） スペインの金塊とソ連／附記（二） 国際旅団／あとがき	https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01856090	http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2991739